令和3年3月3日の看護師との面談状況の記載に関する御指摘について（補足説明）

令和4年6月7日

出入国在留管理庁

1 事実の特定経緯について

調査報告書では、医療的対応の適否を検討する前提として、外部病院精神科を受診するに当たり、ウイシュマさんが看護師に対して訴えていた症状等を特定する必要がありました。

ビデオ映像は、自傷その他の事故防止等のため撮影されたものであり、設置角度、画質、音声等の問題から、これのみによってウイシュマさんの言動等の全てを詳細に把握することが困難であり、3月3日のウイシュマさんと看護師との面談の状況については、関係する場面のビデオ映像の精査と併せて、看護師からの聴き取り等を行いました。

その結果、

- ・ 3月3日、ウイシュマさんは、看護師から、精神科医師に話すべき症状として、「頭の中が電気工事をしているみたいに騒がしい」、「耳の奥で波の音がして聞こえづらい」、「食事が少ししか食べられない」との症状を指摘されて、うなづくなどした
- ・ このときに看護師が指摘した症状は、いずれも、それ以前の面談の際（2月26日、3月1日等）に、ウイシュマさんが看護師に伝えていたものであった
- ・ 3月3日、ウイシュマさんから、看護師に、「目がぼんやりしている」、「死んでもよいと思うときがある」との症状を述べた
- ・ 他方で、看護師から、症状として「吐き気」を指摘された際には、「吐き気はない」と答えて否定した

ことをそれぞれ確認いたしました。

2 報告書の記載について

御指摘の調査報告書別添43頁の記載は、ウィシュマさんが看護師に訴えていた症状等を特定するため、3月3日の看護師との面談においてウィシュマさんが発言し、又は看護師から指摘されて肯定した症状等を明らかにすることを主眼とし、上記1のとおり確認した内容を「・・・旨を述べた。」として一括して記載したものです。

なお、ウィシュマさんは、3月3日及び4日の看護師とのやり取り・確認を踏まえ、精神科医師に対し、調査報告書別添46頁に記載の症状を伝えています。

3 2月26日や3月1日のビデオ映像の位置付けについて

上記1のとおり、3月3日の場面では、それ以前の面談の際にウィシュマさんが看護師に伝えていた症状を看護師が指摘し、ウィシュマさんが肯定したことがあったことや、ビデオ映像の設置角度等の問題から、ウィシュマさんの言動等の全てを詳細に把握するのが困難であったことを踏まえ、念のため、それ以前（2月26日、3月1日）の場面も併せてご覧いただく方が、3月3日のビデオ映像の内容を御理解いただきやすいと判断しました。